

中国国家建設高水準大学
公費派遣研究生受入制度募集要項
＜2013 年 9 月、2014 年 4 月入学者用＞

早稲田大学

I. 募集課程・募集研究科

【募集課程】

- (1) 博士後期課程 <受入期間: 36 ヶ月(3 年間)>
- (2) 外国人特別研修生 <受入期間: 6 ヶ月または 12 ヶ月(半年または 1 年間)>
※外国人特別研修生は早稲田大学の学位は取得できないので注意してください。

【募集研究科】

(1) 国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科

政治学研究科政治学専攻、経済学研究科、法学研究科、文学研究科、基幹理工学研究科、創造理工学研究科、先進理工学研究科、教育学研究科、人間科学研究科、社会科学研究科、スポーツ科学研究科

(2) 国際アドミッションズ・オフィスが窓口とならず、直接出願を受け付ける研究科

アジア太平洋研究科、国際情報通信研究科、日本語教育研究科、情報生産システム研究科、環境・エネルギー研究科

【募集人員】

全学で年間最大 60 名程度

II. 出願資格

出願する者は、それぞれの課程ごとに(1)～(2)の両方に該当していなければなりません。

【博士後期課程】

- (1) 中国政府の国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格を有し(※)、所定の手続により所属大学・その他機関等から推薦され、国家留学基金に奨学金申請を行う者。
- (2) 修士もしくは修士(専門職)の学位またはこれに相当する学位を得た者、または修士課程に在籍し、2013 年 9 月入学の場合は 2013 年 9 月 20 日までに、2014 年 4 月入学の場合は 2014 年 3 月 31 日までに修士の学位を取得見込の者。一貫制博士課程(博士前期課程と博士後期課程の区別がない課程)に在籍する場合は、早稲田大学大学院に入学するまでに所属大学大学院に 2 年以上在籍し、修士課程修了と同等の学力があると認められた者。

【外国人特別研修生】

- (1) 中国政府の国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格を有し(※)、所定の手続により所属大学・その他機関等から推薦され、国家留学基金に奨学金申請を行う者。
- (2) 中国国内の大学の博士後期課程に在籍する者。一貫制博士課程(博士前期課程と博士後期課程の区別がない課程)に在籍する場合は、早稲田大学大学院に入学するまでに所属大学大学院に 2 年以上在籍し、修士課程修了と同等の学力があると認められた者。

※ 国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格は以下のとおり。

① 中国国内に居住する者

修士・修士(専門職)の学位またはこれに相当する学位を取得した社会人もしくは博士後期課程 1 年に在籍する者、または中国国内の大学の修士課程に在籍し、2013 年 9 月入学の場合は 2013 年 9 月 20 日までに、2014 年 4 月入学の場合は 2014 年 3 月 31 日までに修士の学位を取得見込の者。

② 中国国外に居住する者

中国国外の大学の博士後期課程 1 年に在籍する者、または修士課程に在籍し、2013 年 9 月入学の場合は 2013 年 9 月 20 日までに、2014 年 4 月入学の場合は 2014 年 3 月 31 日までに修士の学位を取得見込の者。

Ⅲ. 出願

※早稲田大学の教員にコンタクトを取って事前に受入内諾書を得た場合でも、下記の出願期間に必ず出願を行い、選考に合格する必要があります。下記の選考過程を経ていない場合、たとえ受入内諾書を得ていても、奨学金の受給資格は無く、早稲田大学に入学することは出来ないの
で注意してください。

※本学の博士後期課程 1 年に在籍する者の申請については、事前に留学センターまでご相談ください。

(留学センター問い合わせ先 : TEL: 03-3203-9806 E-mail: in-cie@list.waseda.jp)

(1) 出願期間

①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科

2012 年 11 月 12 日(月)～2012 年 11 月 19 日(月) 【締切日必着】

②国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科

研究科によって異なります。別表(11～16 ページ)を参照してください。

(2) 出願方法

①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科

「Ⅲ. 出願 (3) 出願書類」と別表(11～16 ページ)に書かれている各研究科の要件を参照のうえ、出願書類一式を国際アドミッションズ・オフィスのホームページ

(<http://www.waseda-iao.jp/waseda/j/admission/4/04a/4-1-3.html>)よりダウンロードし、国際宅配業者を利用して下記の宛先まで送付してください。窓口での直接受付は一切行いません。

〒169-8050

東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学 入学センター 国際アドミッションズ・オフィス

「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度」係

【Address】

“The Special Admission for Postgraduate Study Abroad Program by China
Scholarship Council (国家建设高水平大学公派研究生项目)” Section
International Admissions Office, Admissions Center, Waseda University
1-6-1 Nishi-Waseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8050, Japan

②国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科

別表(11～16 ページ)を参照し、各研究科の定めた出願書類を各研究科が指定する宛先に送付してください。

(3) 出願書類

①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科

1) 入学志願票 (所定用紙)

※カラー写真 1 枚(縦 4 cm × 横 3 cm)を所定欄に貼付してください。

※裏面に氏名をボールペンで記入してください。

2) 卒業(修了)証明書および学位取得証明書 (原本)

※学部と修士課程の両方の証明書を必ず提出してください。

※証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。証明書が中国語でしか発行できない場合は、必ず翻訳文(英語または日本語)を作成し、中国国内にある各地方の公証処等の公的機関で翻訳公証印を受けてください。

※出願時に修士課程修了見込の志願者は、修了予定年月日・取得予定学位ならびに専攻を明記した修了見込証明書を提出してください。

※修士課程修了見込で出願した志願者は、合格後、研究科への入学手続を行う際に、修了証明書、学位取得証明書および成績証明書を改めて提出いただきます。

3) 在学証明書（原本、該当者のみ）

※博士後期課程在籍中の方は在学証明書を提出してください。

※証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。証明書が中国語でしか発行できない場合は、必ず翻訳文（英語または日本語）を作成し、中国国内にある各地方の公証処等の公的機関で翻訳公証印を受けてください。

4) 成績証明書（原本）

※成績証明書は、学部と修士課程の全学期の成績が記載されたものを提出してください。

※博士後期課程在籍中の方は博士後期課程の成績も提出してください。

※証明書が複数ページに渡る場合には、全てのページに学校印が必要です。

※証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。証明書が中国語でしか発行できない場合は、必ず翻訳文（英語または日本語）を作成し、中国国内にある各地方の公証処等の公的機関で翻訳公証印を受けてください。

5) 研究計画書

※必ず志願者本人が作成してください。なお、研究計画書の記入方法は、志望する研究科・課程によって異なりますので、別表（11～16 ページ）を参照してください。

6) 語学能力に関する証明書

※志望する研究科・課程によって異なりますので、別表（11～16 ページ）を参照してください。

7) 推薦状（原本、所定用紙）

※推薦状は所定用紙の使用を推奨します。所定用紙以外の推薦状でも出願は可能ですが、2012 年 4 月以降に発行されたもののみ有効となります。日付と推薦者の署名または印鑑があることを必ず確認のうえ、原本を提出してください。

※推薦状は英語または日本語で作成してください。それ以外の言語で作成されている場合は、必ず翻訳文（英語または日本語）を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に公証は必要ありません。

※1 部のみの提出で結構です。

8) パスポートのコピー

※顔写真のページのみ

※まだパスポートを持っていない場合は、政府発行の顔写真入り身分証（表・裏両面）のコピーを提出してください。

9) 提出書類返還依頼書（所定用紙、該当者のみ）

※返還作業には 1～2 ヶ月かかるため、その点も考慮して準備をしてください。

10) 出願書類提出用宛名ラベル（所定用紙）

※出願の際、出願書類の最終ページの「出願書類提出用宛名ラベル」を封筒に貼り付けるか、「出願書類提出用宛名ラベル」の住所を国際宅配業者（EMS 等）のラベルに転記のうえ、送付してください。

②国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科

別表（11～16 ページ）を参照のうえ、志望する研究科の指定する出願書類を提出してください。

(4) 入学検定料
免除とします。

(5) 出願上の注意

- ① 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ② 出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受理できないことがあるので十分に注意してください。また早稲田大学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
- ③ 一度提出した出願書類は原則として返還できません。再発行が不可能であると当学が判断したもののみ書類の返還を行うこととします。返還を希望する場合は「提出書類返還依頼書」に再発行が出来ない書類と、その理由を明記し、他の出願書類と一緒に送付してください。なお公証書、成績証明書、推薦状に関しては、原本の返還は一切行ないません。
- ④ 受験生への連絡は、志願票に記載された現住所および E-mail アドレス宛に行います。出願後に志願票に書かれている現住所・電話番号・E-mail アドレス等を変更した場合は、すぐに china5000@list.waseda.jp までご連絡ください。変更が原因で早稲田大学からの連絡が受験生に届かなかったとしても、早稲田大学は一切責任を負いません。
- ⑤ 受験時の交通・宿泊については各自で手配してください。
- ⑥ 身体機能の障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち入学センター国際アドミッションズ・オフィスまでご連絡ください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合も速やかにご連絡ください。

IV. 選考

(1) 選考方法

- ① **国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科**
第一次選考(書類審査)と第二次選考(面接試験)を実施します。
- ② **国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科**
志望する研究科・課程によって異なりますので、別表(11～16 ページ)を参照してください。

(2) 選考日程

- ① **国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科**
 - ・第一次選考(書類審査)結果発表:
2012 年 12 月上旬に志願票へ記載された現住所宛に郵送、または E-mail アドレス宛にメールで通知します。
 - ・第二次選考(面接試験):
2012 年 12 月 15 日(土)、16 日(日)、22 日(土)、23 日(日)のいずれかの日程で、早稲田大学の北京オフィスまたは上海オフィスにおいて TV 会議システム等を使用し、来日を要さない形で面接を行います。また、日本の大学に在籍中の方は東京で面接を行います。

※面接試験の日時指定は出来ないの以上記の日程は必ず予定を空けておくこと。

※法学研究科の外国人特別研修生は第一次選考(書類審査)のみで合否判定を行います。第二次選考(面接試験)はありません。

- ②国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科
志望する研究科・課程によって異なりますので、別表(11～16 ページ)を参照してください。

(3)面接試験受験にあたっての注意事項

「Ⅶ. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項」「Ⅷ. 早稲田大学入学試験実施に際しての措置」(7ページ)を参照してください。

V. 受入内諾書発送予定日と受入内諾書受領後の手続き

(1)受入内諾書発送予定日

①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科

第二次選考(面接試験)合格者には当学より、2013 年 2 月上旬に受入内諾書を発送します。
書類を受領後、所定の手続きを行ってください。

②国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科

発送予定日は研究科によって異なります。志望する研究科の募集要項を参照してください。

(2)受入内諾書受領後の手続き

①国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科

②国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科

日程	中国側	早稲田大学側
2013 年 3 月 1 日～3 月 20 日 (予定)	①候補者に選ばれた志願者が早稲田大学の受入内諾書を所属大学に提出し、かつ国家留学基金へのオンライン申し込みを完了する。	
2013 年 6 月 (予定)	②国家留学基金が「奨学金受給者」を正式に決定する。「奨学金受給者」に採用された志願者は、国家留学基金から発行された「奨学金給付証明書(原本)」を早稲田大学に提出する。	③早稲田大学が「奨学金受給者」の正式決定をもとに「最終合格者」を決定し、入学手続きに関する通知を行う。

※在留資格に関する手続きは、「Ⅸ. 在留資格」(8 ページ)を参照してください。

Ⅵ. 学費・奨学金等の取り扱い

- ・国家留学基金の奨学金受給者に採用されなかった場合、早稲田大学の受入内諾を取り消します。
- ・当制度で採用された学生に対し、早稲田大学在籍中(博士後期課程は最長 36 ヶ月、外国人特別研修生最長 12 ヶ月)の入学金、学費、諸会費は免除とする。ただし基本の修了要件にはない、任意で受講する自由科目(日本語科目等)に関しては各自で費用を負担すること。
- ・早稲田大学のその他の学内奨学金や国費等授業料減免を含む学外奨学金との併願は不可とします。
- ・学生の生活費、往復航空券は国家留学基金により学生本人に支給されます。
- ・早稲田大学は合格者に対し、日本における宿舍の情報提供を行う。入学予定者は各自で宿舍を手配し、賃料を各自で負担する。
- ・当制度は、早稲田大学在籍中の在留資格が「留学」である者に限ります。

VII. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

- (1)出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
- (2)次のことをすると不正行為となることがあります。
 - カンニングをすること(試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つこと・使用すること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)。
 - 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - 試験時間中に、携帯電話を身に付けること、使用すること。
 - 試験時間中に、携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音など)を鳴らすこと。
 - 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (3)不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - 試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - 別室での受験を求めること。
- (4)不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - 当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
 - 当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

VIII. 早稲田大学入学試験実施に際しての措置

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。予めご了承ください。

(1)受験環境について

可能な限り公平・厳粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音(航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話の鳴動など)が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取りだし鳴動停止の捜査をすることがあります。
- ③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

(2)不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

Ⅷ.在留資格

中国国家建設高水準大学公費派遣研究生として早稲田大学に在学するためには、在留資格「留学」を取得しなければなりません。既に「留学」以外の長期滞在可能な日本の在留資格をお持ちの場合は、在留資格「留学」への変更手続きが必要です。その場合は、早稲田大学入学のため入国後、直ちに早稲田大学留学センターにご連絡ください。

(留学センター問い合わせ先 : TEL:03-3203-9806 E-mail: in-cie@list.waseda.jp)

在留資格「留学」の取得までの流れ

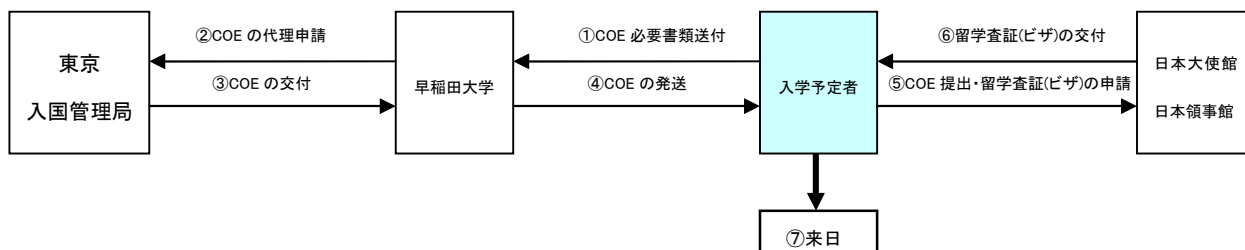
日本に長期滞在できる有効な在留資格を持っていない場合、取得のために以下の手続きが必要です。また、早稲田大学では、日本国外在住の入学予定者の方のために、東京入国管理局に留学のための「在留資格認定証明書」(COE)の代理申請を行います。

※国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科へ出願予定の方は下記を参照してください。国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科へ出願予定の方は、研究科によって「在留資格認定証明書」の代理申請の手順とスケジュールが異なります。志望する研究科の募集要項を参照のうえ、所定の手続きを行ってください。

代理申請

- ①入学予定者は、「在留資格認定証明書」の申請に必要な書類等を早稲田大学に送付する。
※申請に必要な書類は合格者に研究科から送付。
- ②早稲田大学は、東京入国管理局に「在留資格認定証明書」の代理交付申請手続きをする。
- ③早稲田大学が、東京入国管理局から「在留資格認定証明書」の交付を受ける。
- ④早稲田大学が、「在留資格認定証明書」を入学予定者に発送する。
- ⑤入学予定者は、自国の日本大使館/領事館に「留学」査証(ビザ)の申請をする。
- ⑥入学予定者は、「留学」査証(ビザ)の交付を受ける。
- ⑦入学予定者は、上陸地(空港)で上陸審査を受け、在留資格「留学」を取得して入国する。

※COE: 在留資格認定証明書



①～④「在留資格認定証明書」代理申請の予定日程

2013年9月入学予定者	月	2014年4月入学予定者
	5月	
	6月	① 入学予定者から早稲田大学に申請書類送付
	7月	② 早稲田大学が東京入国管理局に代理申請
	8月	③ COEの交付 ④ 早稲田大学から入学予定者に発送
	9月	
	10月	
① 入学予定者から早稲田大学に申請書類送付	11月	
② 早稲田大学が東京入国管理局に代理申請	12月	
	1月	
③ COEの交付 ④ 早稲田大学から入学予定者に発送	2月	
	3月	

⑤、⑥「留学」査証の申請・取得

「在留資格認定証明書」の交付を受けた後、日本大使館/領事館に、各大使館所定の申請書類、パスポートおよび「在留資格認定証明書」により「留学」査証(ビザ)を申請してください。

「留学」査証(ビザ)申請に必要な書類は、申請予定の大使館/領事館に直接問い合わせてください。
なお、入学許可書は、在留資格認定証明書と共に早稲田大学から送付します。

⑦在留資格「留学」の取得

「在留資格認定証明書」と「留学」査証(ビザ)を持って来日し、在留資格「留学」を取得してください。
在留資格認定証明書発行日から3か月以内に来日してください。

○ 個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

X.問い合わせ先

早稲田大学 入学センター
国際アドミッションズ・オフィス
「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度」係

〒169-8050

東京都新宿区西早稲田 1-6-1

TEL: +81-3-3204-9073 FAX: +81-3-3204-9464

E-mail: china5000@list.waseda.jp (中国語、日本語、英語可)

URL: <http://www.waseda-iao.jp/waseda/j/admission/4/04a/4-1-3.html>

【別表】各研究科の出願に関する詳細

(1) 国際アドミッションズ・オフィスが窓口となって出願を受け付ける研究科

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
政治学研究科 政治学専攻	入学時期	2013年9月または2014年4月	
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(TV会議システムを利用)	
	出願書類	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	出願時に以下の1または2および4を提出のこと。1、2が入手できない場合には3をもって代えることができる。 1. 日本語能力試験1級またはN1合格証明書(コピー可、有効期限は定めない) 2. 日本留学試験「日本語」で260点以上の成績通知書(コピー可、有効期限は定めない) 3. 教育研究機関が発行する日本語能力証明書(日本語能力試験N1相当以上の実力を有することを証明するもので、機関長ならびに日本学の大学教員が署名したもの) 4. TOEFL, TOEIC, IELTSいずれかの英語能力検定試験のスコアカード(コピー可)	
	研究計画書	<修士論文> 写し3部 <修士論文の概要書> 3部 日本語8,000字程度または英語2,000語程度 ※修士論文と修士論文概要書が未完成の場合、専門分野に関するアカデミック・ライティングのサンプルを2点提出してください。 A) 内容・形式: 特定の論題について、学術論文としての形式に沿って書かれたもの B) 分量: 1点につき、日本語の場合は8,000字程度、英語で書かれている場合には4,000 words程度 C) 提出部数: 各3部 <博士論文の研究計画書> 3部 日本語10,000字程度または英語2,500語程度	
経済学研究科	入学時期	2013年9月または2014年4月	
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(TV会議システムを利用)	
	出願書類	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	(1) 日本語での研究指導希望者の場合 次の①および②を提出のこと。 ① 日本語能力証明書: 「日本語能力試験1級、またはN1合格」の可否結果通知書または「日本留学試験」の「日本語」科目(「記述」を除く)合計260点以上の成績通知書の原本(有効期限は定めない)。 ② 英語能力証明書*: TOEFL-iBT、TOEFL-PBTまたはIELTSのいずれか1点のスコアカードの原本(出願締切日より遡って2年以内に受験したもの)。 (2) 英語での研究指導希望者の場合 英語能力証明書*: TOEFL-iBTスコア100点以上、TOEFL-PBTスコア600点以上またはIELTSスコア7.0以上のいずれか1点のスコアカードの原本(出願締切日より遡って2年以内に受験したもの)。 * 英語能力証明書については、母国語が英語である者および、英語圏の高等教育機関(修士課程以上)において学位を取得した者はスコアカードの提出は不要。	
	研究計画書	<修士論文> 写し3部(日本語もしくは英語) <修士論文の概要書> 3部 (A4横書きで、日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,000words程度で作成すること) <修士論文指導教員の所見書> 1部 (日本語もしくは英語で作成の上、指導教員の自筆による署名、捺印のこと) <博士論文の研究計画書> 3部 (A4横書きで、日本語の場合は4,000字程度+参考文献、英語の場合は2,000words程度+参考文献で作成すること) 2013年7月に修士卒業見込みの方は修士論文に相当する論文3部を提出	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
法学研究科	入学時期	2014年4月	2013年9月または2014年4月
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の 教員コンタクト	不要(コンタクトを希望する場合は、法学研究科事務所のEメールアドレス(gradlaw@list.waseda.jp)までEメールを送信してください)	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(TV会議システムを利用)	研究計画書に基づき希望研究指導担当教員が受入を決定する。
	出願書類	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	日本語能力試験1級/N1合格または日本留学試験「日本語」の成績が260点以上 ※以下のいずれかを提出すること(過去のものでも可)。 ①日本語能力試験(JLPT):1級/N1級合格の「合否結果通知書」 ②日本留学試験(EJU):「日本語」の成績260点以上の「成績通知書」	
	研究計画書	＜修士論文(またはこれに相当する論文)＞ 論文および概要書各3部(日本語で書かれたもの) ※提出論文は出願開始日から遡って2年以内に執筆した論文とし、それ以前に執筆した論文の場合は、補筆して提出してください。 ※「修士論文」および「修士論文概要書」が未完成の場合には、未完成であることを明記した上で、出願時点での原稿を提出してください。 ＜博士論文の研究計画書＞ 3部(A4横書きで日本語2,000文字程度、文献や資料を参照した場合は、文末にまとめて記述すること)	
文学研究科	入学時期	2014年4月	2013年9月または2014年4月
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(TV会議システムを利用)	
	出願書類	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	全ての出願時に日本語能力試験1級/N1合格証明書(過去のものでも可)、または日本留学試験「日本語」の成績通知書(260点以上)を提出すること(※コピー可)。ただし、上記を未取得の場合でも、2012年度の日本語能力試験N1を受験(2012年12月実施)することを条件に、出願を許可することもある。ただしこの場合、文学研究科の入試に合格しても、日本語能力試験N1を取得できなかった場合は入学を認めない。なお、上の条件は原則であり、研究分野によって別途考慮することがある。	
	研究計画書	＜修士論文＞ 写し1部 ＜修士論文の概要書＞ 3部(日本語12,000字程度)ワープロ可 ※出願時点で修士卒業見込みの方は、修士論文に相当する論文の写し1部および概要書3部(日本語12,000字程度)ワープロ可)を提出してください。 ＜修士論文指導教員の所見書＞ 1部(指導教員の自筆による署名または、捺印のこと) ＜博士論文の研究計画書＞ 3部(日本語で自筆のもの)(原稿用紙400字x20枚程度) ※3部のうち、2部はコピー可	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
基幹理工学研究科 創造理工学研究科 先進理工学研究科	入学時期	2013年9月または2014年4月	
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の 教員コンタクト	事前にコンタクトを取ることが望ましい。コンタクトを取らずに出願した場合は受入れの可能性が低くなったり、出願が受け付けられないこともある。また、事前コンタクトの際には中国CSCの奨学生候補者である旨を必ず伝えること。(ここでいう事前コンタクトとは、出願の可否を打診するもので、正式な受入内諾を求めているのではない。) 教員連絡先: http://www.sci.waseda.ac.jp/research/index-e.html	
	選考方法	書類審査(ただし、専攻および受入教員の要望により電話やEメール等での質疑応答を行う場合があります。また日本国内在住者の場合には面接を行う場合があります。)	
	出願書類	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	その他	・機械科学専攻では中国側指導教員2名の推薦書を提出させる。 ・共同先端生命医科学専攻、共同先進健康科学専攻(いずれも先進理工学研究科)では募集を行いません。	
	語学要件	指導教官の要求がなければ、日本語能力試験の成績の提出は不要。 TOEFL、TOEIC、IELTS、GEPT 等の英語能力証明書(スコアカード)を提出してください。 a. スコアカードの原本、またはコピーを提出してください。 b. 受験時から2年以内のものを提出してください。 c. 母国語が英語の者、英語圏の大学・大学院等を卒業・修了した者および英語による授業のみで学位取得可能な課程を修了した者は提出不要です。この場合、A4サイズの用紙(書式自由)にその旨を記入し、出願書類に同封してください。	
	研究計画書	<修士論文> 写し1部 <修士論文概要書> 1部 (概要書は日本語8,000字程度または英語2,000語程度、図面等は字数に含めない) ※修士論文が完成していない場合には、修士論文の計画書を提出してください。(日本語8,000字程度または英語2,000語程度、図面等は字数に含めない) <博士論文の研究計画書> 1部 (日本語10,000字程度または英語2,500語程度、図面等は字数に含めない。研究テーマを必ず明記すること。)	
教育学研究科	入学時期	2014年4月	
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	専攻主任と受入れ指導教員により面接試験(TV会議システムを利用)を実施する	
	出願書類	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	日本語能力試験1級またはN1の合格証明または日本留学試験「日本語」の成績証明(260点以上)のコピー	
	研究計画書	<修士論文> 写し2部 <修士論文の概要書> 1部 (日本語で自筆のもの)(原稿用紙400字×4枚以内) <博士論文の研究計画書> 1部 (日本語で自筆のもの)(原稿用紙400字×12枚以内) ※修士論文および修士論文概要書が未完成の者、または修士論文を執筆せずに修士の学位を得た者は教育学研究科事務所に問い合わせてください。	

研究科名	募集課程	博士後期課程	外国人特別研修生
人間科学研究科	入学時期	2014年4月	2013年9月または2014年4月
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の教員コンタクト	必ず出願前に jinken@list.waseda.jp 宛てに以下内容を記載のうえメールを送ること(日本語が望ましいが英語でも可)。 中国 CSC 奨学生候補者であること、指導希望教員名、自身の研究分野および研究計画、指導希望教員への質問 など なお、事前にメールを送付せずに出願した場合は受入れの可能性が低くなったり、出願が受け付けられないこともある。なお、ここでいう出願前の教員コンタクトとは、入学後のミスマッチを防ぎ出願の可否を事前に確認するためのプロセスであり、正式な受入内諾を求めているのではない。	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(TV会議システムを利用)	
	出願書類	「中国国建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	以下①～③のいずれかを提出すること ①日本語能力試験(JLPT):「合否結果通知書のコピー」(レベル、合否は問わない、過去のものでも可) ②日本留学試験(EJU):「成績通知書のコピー」(得点は問わない、過去のものでも可) ③TOEFL、TOEIC、IELTSのいずれかの「スコアレポート(原本)」(得点は問わない、出願締切日から遡って2年以内のものに限る) ただし、TOEFLは[1] TOEFL-CBT、[2] TOEFL-PBT、[3] TOEFL-iBTのいずれか、TOEICはTOEIC公開テストのみ(TOEIC SW、TOEIC Bridge等は不可)を提出可とする。	
	研究計画書	<修士論文の概要書> 修士論文の概要書1部(A4横書き、日本語で自筆に限る、2,000字程度で作成すること) <博士論文の研究計画書> 1部(A4横書き、日本語で自筆に限る、4,000字程度で作成すること) ※修士課程修了見込みで「修士論文」および「修士論文の概要」が未完成の場合は、「出願までの研究成果(論文など)の概要書」1部(A4横書き、日本語で自筆に限る、2,000字程度で作成すること)を提出すること。 ※必ず前述の「出願前の教員コンタクト」を行うこと。	
社会科学研究科	入学時期	2013年9月または2014年4月	
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の教員コンタクト	事前にメール等で連絡のうえ(メールアドレス admissions-socs@list.waseda.jp)、中国 CSC 奨学生候補者であること、および志望する研究指導教員を明記のうえ、社会科学研究科宛てに、以下の書類を送付し、事前審査を受けることが強く望まれる。なお、事前審査を経ずに出願した場合は、受入れの可能性が低くなるがあるので注意すること。 ①履歴書、②成績証明書(大学・大学院の両方)、③修士論文の概要書、④詳細な研究計画書、⑤語学能力に関する証明書(下欄の語学要件に示す日本語能力に関する証明) <研究指導担当教員の調べ方> 研究者データベースで調べる。 研究者データベース: https://www.wnp7.waseda.jp/Rdb/app/ip/ipi0201.html 社会科学研究科ホームページで調べる。 http://www.socs.waseda.ac.jp/g/admission/coaching/	
	選考方法	書類審査、必要に応じて面接試験(TV会議システムを利用)を実施することもあります。	
	出願書類	「中国国建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	日本語能力証明書 原則として、以下のいずれかの書類を提出すること ①日本語能力試験1級/N1または2級/N2の合否結果通知書または認定結果及び成績に関する証明書のコピー ②日本留学試験「日本語科目」の成績通知書(コピーでも可) ③上記①②を受験していない場合のみ、大学等の日本語担当の先生からの評価書を提出すること。 なお、指導教員によっては、日本語能力の他に、TOEFL、TOEIC、IELTS等のスコアカードの提出を求める場合もあります。	
	研究計画書	<修士論文> 写し1部 <修士論文の概要書> 1部 日本語2,000字程度 <博士論文の研究計画書> 4部 日本語4,000字程度(タイトル、参考文献、注を含める) なお、修士課程修了見込みの者で、出願時に修士論文を提出できない場合は、以下の3点の資料を提出すること。 <修士論文執筆計画書> 1部 日本語。特に字数の指定は設けない。 <修士論文中間報告会レジュメ> 1部 日本語。中間報告会を実施していない場合は省略可。 <博士論文の研究計画書> 4部 日本語4,000字程度(タイトル、参考文献、注を含める)	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
スポーツ科学研究科	入学時期	2013年9月または2014年4月	
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 締切日必着	
	出願前の教員コンタクト	出願の際には、自分の希望する研究指導の担当教員と事前に連絡をとり、事前に充分相談してから出願してください。相談は担当教員と直接E-mail で行えます。希望する担当教員名を記入の上、質問か相談の内容を書いて(英語、または日本語が望ましい) supoken-nyushi@list.waseda.jp ヘメールをお送りください。担当教員より返信を差し上げます。	
	選考方法	第一次選考「書類審査」および第二次選考「面接試験」(TV会議システムを利用)	
	出願書類	「中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項」のP.3～4を参照ください。	
	語学要件	日本語、あるいは英語によるコミュニケーション能力の証明書類の提出してください(提出可能であれば、以下の書類を添えることが望ましい)。 1. 日本語能力試験1級/N1成績証明書 2. 日本語能力試験2級/N2合格証明書 3. 日本留学試験「日本語」の成績通知書 4. TOEFL・TOEIC・IELTS何れかのスコアレポート ※但し、TOEFL等のスコアレポートは原本に限り提出可能。	
	研究計画書	<修士論文の概要書> 修士論文の概要書1部(日本語で自筆のもの)(原稿用紙400字x5枚程度) <博士論文の研究計画書> 1部(日本語で自筆のもの)(原稿用紙400字x10枚程度) 注意:出願の前に自分の希望する研究指導の教員と連絡を取り、研究計画等についての相談、及び受験の承諾を得ることが必要です。	

(2) 国際アドミッションズ・オフィスが窓口にならず、直接出願を受け付ける研究科

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
アジア太平洋研究科	入学時期	2013年9月	
	出願期間	2012年12月14日～12月21日(出願書類については、郵送にて12月21日必着)	
	出願前の教員コンタクト	不要	
	選考方法	第一次選考(書類選考)および第二次選考(面接)により可否判定を行う。第一次選考(書類選考)合格者のみが第二次選考の対象となる。	第一次選考(書類選考)のみで可否判定を行う。
	出願書類	所定の提出書類を用いて出願すること。具体的な必要書類・面接方法等の詳細については、別途本研究科WEBサイト等で通知 (日本語WEBサイト) http://www.waseda.jp/gsaps/scholarship/csc_jp.html (英語WEBサイト) http://www.waseda.jp/gsaps/scholarship/csc_en.html	
	語学要件	日本語履修希望の場合: 日本語能力試験1級またはN1の成績通知書(スコア記載)原本/英語履修希望の場合: TOEFL、IELTS、TOEICのいずれかの成績通知書原本	
国際情報通信研究科	入学時期	2013年9月	
	出願期間	2012年11月1日(木)～2013年1月11日(金) 必着	
	出願前の教員コンタクト	必要	
	選考方法	書類審査及びプレゼンテーションと質疑応答	
	出願書類	(日本語HP) http://www.gits.waseda.ac.jp/admit/admit.php?lang=ja (英語HP) http://www.gits.waseda.ac.jp/admit/admit.php?lang=en	
	語学要件	証明書の提出は任意(コピーの提出可)	

研究科名		博士後期課程	外国人特別研修生
日本語教育研究科	入学時期	2013年9月または2014年4月	
	出願期間	2012年12月17日(月)～12月21日(金) ※消印有効	
	出願前の 教員コンタクト	不要	
	選考方法	提出されたすべての書類による書類選考、およびスカイプによる面接を行います。	
	出願書類	本研究科WEBサイト参照 http://www.waseda.jp/gsjal/admin.html	
	語学要件	規定はないが、日本語能力試験に合格している者はスコアカードのコピーを提出。 またその他、日本語学習歴を証明する書類がある場合は提出。 修士卒業見込みの方は修士論文に相当する論文3部を提出。	
情報生産システム研究科	入学時期	2013年9月	外国人特別研修生は募集しません。
	出願期間	【国内出願】 2月入試・・・2013年1月9日(水)～1月21日(月)	
		【国外出願】 1月入試・・・2012年11月12日(月)～12月7日(金)	
		2月入試・・・2013年1月9日(水)～1月21日(月)	
		【内部進学】 詳細はIPS事務室に要問合せ。	
	出願前の 教員コンタクト	必要	
	選考方法	【国内出願】 書類選考、面接 【国外出願】 書類選考	
	出願書類	【国内出願・国外出願】 本研究科WEBサイト参照 http://www.waseda.jp/ips/csc.html (日本語版) http://www.waseda.jp/ips/english/csc.html (英語版) 【内部進学】 詳細はIPS事務室に要問合せ。	
環境・エネルギー研究科	入学時期	2013年9月または2014年4月	
	出願期間	2012年11月12日(月)～2012年11月19日(月) 必着	
	出願前の 教員コンタクト	必要: 次のアドレスに所属大学、氏名、希望教員名、希望研究テーマを連絡のこと。weee-ent@list.waseda.jp	
	選考方法	書類審査	
	出願書類	1)志願票、2)履歴書、3)卒業(修了)証明書および学位取得証明書(コピー可)、4)在学証明書(原本、該当者のみ)、5)成績証明書(原本)、6)活動実績概要書、7)研究業績報告書、8)志望理由および自己アピール、9)入学後の研究計画、10)推薦書 *1)、2)、6)、7)、8)、9)の所定用紙は研究科HPからダウンロードして使用のこと。また、学術論文および学会講演発表等の抜刷り、各種制作物等のリストを併せて送付すること。 研究科HP: http://www.waseda.jp/weee/english/exam/csc.html	
	語学要件	成績表の提出は不要	